


# 河内長野市「認知症パートナーの養成とチームオレンジの立ち上げ」

キーワード ステップアップ研修 認知症サポーターの活動支援

## ○ 自治体情報（令和元年9月30日現在）

人口	104,865人	高齢者人口	36,016人 (高齢化率 34.3%)	面積	109.6 km <sup>2</sup>
市の紹介		大阪府の南東端に位置し、奈良県・和歌山県と隣接する。 市域がとても広く 2/3 が山間部で自然が豊か。 国宝・重要文化財も多い。 新興住宅地が多く、 高齢化率は大阪府下の市の中で 1 位。			

### ① 活動の概要

取り組み内容	ステップアップ研修「認知症パートナー養成講座」の実施と活動支援
取り組みの実施主体	行政、認知症地域支援推進員
連携した機関等	認知症疾患医療センター、大阪府認知症介護指導者、グループホーム、認知症キャラバン・メイト連絡会等
取り組みの開始時期	平成 27 年度から

### ② この活動に取り組んだきっかけ（経過）

認知症の人が、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、専門職による公的サービスでの支援だけでは難しく、地域のボランティアによる支援が必要と考え、認知症の人に寄り添うボランティアである「認知症パートナー」を養成する講座（「認知症パートナー養成講座」）を平成 27 年度から開催。令和元年度で 5 年目を迎え、養成数は 100 人となった。



〔南河内圏域〕  
河内長野市

年度	チームオレンジに関すること	その他認知症施策
平成19年度	認知症キャラバン・メイトの養成開始	認知症講演会開始
	認知症サポーター養成講座開始	
平成20年度		認知症コーディネーター（専門職）の養成開始
平成21年度		認知症地域資源マップの作成
平成24年度	認知症キッズ★サポーター養成講座開始（小学生）	認知症専門職研修開始
		認知症地域資源マップを「認知症あったか安心マップ」（冊子）として再編
平成25年度		認知症高齢者SOS模擬訓練開始
平成26年度	認知症キャラバン・メイト連絡会設立	認知症地域支援推進員1名配置（認知症介護指導者）
		推進員主催「河内長野市認知症地域連携連絡会」開始
		「認知症あったか安心マップ」改訂 認知症ケアパスを追加
平成27年度	認知症パートナー（ボランティア）養成講座開始	認知症カフェ・もの忘れ相談会開始
	認知症サポーターがいる事業所登録の開始	RUN伴開始
		ONE HEART ソフトボール大会開始（大阪狭山市と共催）
平成28年度	認知症サポーターの集い開始 →具体的なボランティア活動にはつながりにくく2年で終了	認知症初期集中支援チーム3チーム設置
		認知症コーディネーターによる専門職出前研修開始
		「認知症あったか安心マップ」改訂 認知症サポーター養成講座のテキストとして使用
平成30年度	市立中学校全校で認知症ジュニア★サポーター養成講座開始	認知症家族介護者教室「おれんじくらぶ」開始
	本人ミーティング「ほんわかくらぶ」開始	「認知症あったか安心マップ」改訂
	認知症パートナーが個別支援を開始	認知症ケアパスの内容変更
令和元年度	認知症MIRAIづくりミーティング（自主団体）活動開始	認知症地域支援推進員3名配置（各包括1名）
	本人ミーティング・認知症相談会などを開催	河内長野市認知症地域連携連絡会設置要領制定
	「チームオレンジ河内長野」の登録	「認知症あったかねっと」と通称



河内長野市  
〔南河内圏域〕

### ③活動内容

現在 85 名の認知症パートナーが、「認知症パートナーの会」に所属し、活動を行っている。  
 活動内容としては、グループホーム等での傾聴活動、認知症カフェのスタッフ、おれんじファームで育てた野菜で調理や喫食を楽しむ「カレーパーティ」「おいもパーティ」の開催、また、平成 30 年度からは個別支援も行っている。

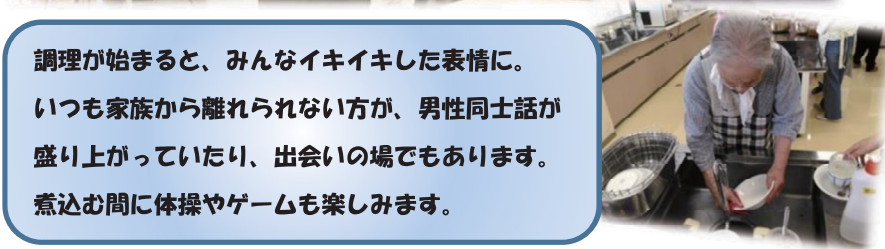
#### 「まちかどカフェ」(認知症カフェ)



パートナー犬  
「じろうくん」も  
活躍中!



#### おれんじファーム & 「カレーパーティ」「おいもパーティ」



調理が始まると、みんなイキイキした表情に。  
 いつも家族から離れられない方が、男性同士話が  
 盛り上がっていたり、出会いの場でもあります。  
 煮込む間に体操やゲームも楽しめます。

#### 個別支援

「一緒に散歩や買い物を楽しみたい」という  
 認知症パートナーの意見から始まりました。

寂しくて、隣家へ1日に何十回も行ってしまう方のご自宅へ  
 4人体制で訪問し、隣家に行く回数が激減しました。  
 認知症の進行とともに、また状況は変化していきますが、  
 その時の寂しさや不安が少しでも和らぎ、ご本人に喜んで  
 いただけるととてもうれしいです。(担当パートナーより)

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目標に  
 ボランティア活動に取り組んでいるグループです。

## 私たちは 認知症パートナー です

料金 無料

〔活動内容〕

- ・まちかどカフェ(認知症カフェ)のスタッフ
- ・デイサービスやグループホームで傾聴ボランティア
- ・認知症の人の活動支援
- ※ おれんじファームで作った野菜を使って、  
 みんなで調理して食べるパーティーを年2回開催!
- ※ 個別支援もスタート!  
 (お話し相手、散歩や買い物の付き添いなど)

認知症パートナーの個別支援をご希望の方は、  
 担当の地域包括支援センターへお申し込みください。

	TEL/FAX	担当学区
東部地域包括センター	TEL 0721-52-0180 FAX 0721-52-0181	千代田・美野・川上
中部地域包括センター	TEL 0721-55-3451 FAX 0721-55-3452	三日月・南花台・加藤田・石坂 大見・東御坊
西部地域包括センター	TEL 0721-56-6000 FAX 0721-53-8080	瀬・小川原・天野・高岡

【問い合わせ先】  
 河内長野市高齢福祉課 TEL 0721-53-1111(代)

〔南河内圏域〕  
 河内長野市

## ④ 活動を進めていく上での工夫・配慮

### ● 認知症パートナー養成講座を行う際の工夫

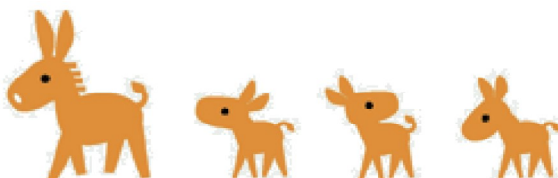
- ・ 認知症サポーター養成講座で、認知症パートナーの活動紹介を行い、認知症パートナー養成講座（以下、講座）の案内希望者を募る。
- ・ 募集の際には、「認知症ボランティアとして活動できる人」と明記する。案内を希望者に送付するほか、市広報紙や市ホームページにも掲載する。その際は、パートナーの写真やコメントも載せると効果的。  
（認知症について学びたい人は、認知症サポーター養成講座等を紹介）
- ・ 講座内容は、1日4時間のカリキュラム（※＜参考資料＞参照）を4日間行い、時間をかけて学ぶことで自信となり、認知症パートナー同士の仲間としての意識も強くなる。
- ・ カリキュラムでは、認知症の理解だけでなく、認知症の人の気持ちを理解した対応方法ができるような内容にする（ロールプレイやグループでの寸劇の作成・実演）。



平成 30 年 6 月号 市広報



- ・ 講座では、グループホーム等での実習の時間を設け、活動の体験をしてもらう。
- ・ 最終日には、修了証・名札・バッジ（※ 右下の写真 参照）を渡し、認知症パートナーの活動への気持ちを高めるため、集合写真を撮る。  
また、認知症パートナー定例会の日程表を渡し、今後、具体的にどのような活動を行っていくのかは、定例会にて認知症パートナー同士で検討してもらう。



## ●認知症パートナー活動を推進するための工夫

- ・活動は、各自できる範囲で・無理なく・楽しくしてもらう。
- ・講座開催後、年10回（平成30年度までは12回）定例会を開催している。  
認知症パートナーは、活動をする中で「こんなのでもいいのかな…。」「お役に立てていない気がする。」「対応の仕方が分からない。」等相談したいことがたくさん出てくるため、専門職も定例会に参加し、認知症パートナーの活動報告で具体的に悩み事などを聞き取り、対応方法について一緒に考えたり、活動先の施設スタッフの意見をフィードバックしたりして、活動をサポートしている。
- ・また、3か月ごとに活動希望を記入していただき、活動先の認知症カフェの主催者や施設に活動希望日・パートナーの氏名・連絡先を送付している。
- ・活動をどのように推進していくのか、定例会にて認知症パートナーと話し合う。  
平成29年度末に次年度の活動について話し合った際、「個別で一緒に買い物に行ったり、散歩したりするような支援がしたい」という声が認知症パートナーよりあがった。
- ・認知症パートナーの活動がいかに重要なものであるか、定例会等で専門職が伝え続け、エンパワーする。



## ⑤ 活動に取り組んで見えてきた効果・課題

- 認知症カフェ、施設、おれんじファーム、個別支援と活動に広がりが出てきて、認知症パートナー各々、自分の得意な事や好きな事を活かした活動ができるようになってきている。
- 個別支援を始めてから、必要時にケアマネジャーと連絡を取り合ったり、個別地域ケア会議に認知症パートナーが参加する等、地域の支援者との連携も進みつつある。
- 講座受講後、活動に参加していなかった認知症パートナーも、地域で自分のできる範囲で認知症の人と関わりを持っている。そのため、今後も認知症パートナーの養成を継続することで、地域の認知症対応力の向上につながっていくと考えられる。
- 5年間かけて少しずつ活動を広げる中で、個別支援が既に始まっていたため、本人ミーティング等を開催している団体「認知症MIRAIづくりミーティング」と共に、チームオレンジをスタートすることができた。



## ⑥ 今後の活動展望（期待・予想される結果など）

- 令和2年度から、チームオレンジの交流拠点を開設予定（月1回）。
- 将来的には、各地域包括支援センターの担当地域ごとに、民生委員や自治会等と連携を密に活動を行っていくことを目標にしている。
- 「認知症 MIRAI づくりミーティング」のメンバーと共に、認知症になってからも希望を持って暮らし続けられるように、活動内容を検討し取組みを進めていく。

知っておきたい認知症のこと⑥

### 認知症とともに生きる

希望を持って自分らしく暮らし続けたい

認知症になったからといって、急に何もできなくなるわけではありません。できることはたくさんあって、いろいろな可能性があります。意識にしばられず、楽しいことやりたいことにチャレンジしてみよう。

市内にはそんなお手本となるような人が多くおられます。その中の一人、森由美子さんにお話を聞きました。

園高給福祉課

いつごろから認知症に？ 私は去年3月、若年性アルツハイマー型認知症と診断されました。それまでは病院で看護師として働いていましたが、診断後半年間は休職し、現在は介護士として同じ職場で働いています。

正直、休職中また復帰できるか、不安でいっぱいでしたが、同じ認知症当事者の人たちの出会いや職場の大きな理解の元、職場復帰できました。これからは頑張って仕事を続けていきたいです。

その元気の源は？  
当事者同士が語り合い元気になる集い「ほんわかくらぶ」に参加しています。気持ちを分かち合える仲間と出会うことは、前向きに生きる力からえます。

**森さんからのメッセージ**

認知症になったからすべてを諦めないでください。ひとりで悩まないでください。私は認知症になって、この夏、生まれてはじめてサーフィンをしました。認知症になっても、いえ認知症だからこそ、どんどん挑戦していきます。希望を持って生きていきましょう。

※「ほんわかくらぶ」など認知症の人のための集いについてのお問い合わせは高齢福祉課へ。



令和2年1月17日

小学校での認知症キッズ★サポーター養成講座の様子

令和元年9月号 市広報

### 「認知症 MIRAI づくりミーティング」

認知症と上手につき合っていく地域文化を育み、「認知症になっても幸せに生きられる」希望ある未来を目指し活動しています。

＜構 成 員＞ 認知症の人、家族、ボランティア

（顧問）認知症サポート医・大阪府認知症介護指導者

＜活動内容＞ 本人ミーティング、認知症の人・家族・専門職を対象にした相談会等

### この活動を通して見えてきたポイント

- 一人一人の“気持ち”が大切。「楽しい」「うれしい」が活動継続の力。
- 手間暇はかかっても、人が増えれば返ってくる効果はとても大きい。
- 住民の力を信じること。





あなたも ボランティアしてみませんか？

# 認知症パートナー 養成講座

**[ 日時 ]** 8/2・16・30・9/13日（金）

AM10:00～PM3:00（8/30は午前のみ）

**[ 会場 ]** キックス 3階 視聴覚室(8/2・16・30)  
中会議室(9/13)

**[ 対象 ]** 認知症の方やご家族へのボランティア活動に参加できる人

**[ 定員 ]** 20名

**[ 内容 ]**



★ 認知症の医学的理解 認知症疾患医療センター 大阪さやま病院 北野あゆみ先生

★ 認知症の心理的理解

★ 認知症の方とのコミュニケーション

★ 認知症パートナーの活動について



★ 認知症グループホームなどでの活動体験(上記日程以外で1時間程度)



現在76名のパートナーさんが活躍中です！

河内長野市 高齢福祉課

TEL 0721-53-1111（平日：AM9:00～PM5:30）

FAX 0721-50-1088

MAIL koureifukushi@city.kawachinagano.lg.jp

お申込み  
お問い合わせ



## 令和元年度 認知症パートナー養成講座 プログラム

日 時		講 師
8/2 (金)	10:00~10:15	○開講式・オリエンテーション
	10:15~12:15	○認知症の医学的理解
	12:15~13:15	○休憩
	13:15~15:00	○認知症の心理的理解
8/16 (金)	10:00~12:00	○コミュニケーション①
	12:00~13:00	○休憩
	13:00~14:00	○コミュニケーション②
	14:10~15:00	○施設実習の説明
8/30 (金)	10:00~11:00	○コミュニケーションの実際
	11:10~12:00	○認知症パートナーの活動について
各自 グループホーム等で実習		
9/13 (金)	10:00~11:00	○実習の振り返り
	11:00~12:00	○演習（寸劇づくり）
	12:00~13:00	○休憩
	13:00~14:00	○演習（寸劇づくり）
	14:00~14:30	○グループワーク・発表
	14:30~14:45	○今後の活動について
	14:45~15:00	○修了式

全体の担当：認知症地域支援推進員